

表の見方 具体的数値項目 A: 充分達成できた B: 達成できた C: もう少しで達成できた D: 達成できなかった

羅 針 盤		方 策		第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目	方 策	自己評価	外部アンケート 生徒 保護者	改善策	自己評価	外部アンケート 生徒 保護者	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	・創意工夫に満ちた教育活動を展開する。 ・各教科で体験的学習を取り入れる。 ・選択授業・少人数授業を実施する。 ・授業参観・授業研究会を実施する。	△	△	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が91.3%である。 ・分かり易い授業や第一志望の実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究等を通して教育技術の向上を図る。	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が90.9%である。 ・分かり易い授業や第一志望の実現に向けて努力する。 ・教員相互の研究授業や授業研究等を通して教育技術の向上を図る。
		(2) 生徒が在学中に1回以上インターンシップに参加している。	・インターンシップ(短期・長期)を実施する。	未	未	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は中止。	未	未	・コロナウイルス感染症対策のため、本年度は中止。
		(3) 工業の特長を生かしたものづくりに積極的に取り組み、実習内容に満足している生徒が70%以上である。	・専門性を深めるため積極的な課外活動に取り組む。(各科研究部等) ・ものづくりが楽しくなる工夫を行い、生徒が積極的に参加できるようにする。	B	△	・各研究部で活動(ものづくり競技・電気自動車・その他など)を行い、着実に取り組んでいる。コロナで中止の大会が多かった。ものづくりにおいて、実習・課題研究等、98.4%の生徒が満足しているとの回答を得た。	B	A	・各科で行われる大会等が、新型コロナウイルスによりほぼ中止となってしまった。電気自動車・技能五輪大会は行われ、ものづくりにつながったことは幸いであった。今後につなげていきたい。
		(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	・行事を充実させ、職員と生徒で運営できるようにする。 ・OBや社会人による講演を行う。 ・前工生であるという帰属意識とプライドを醸成する。	B	B	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が85.8%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。 ・行事に積極的に参加する。	B	B	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が84.1%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。
	2 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	(5) 資格取得指導に満足している生徒が80%以上である。	・資格・講習会の紹介により受験を促す。 ・補習指導を各係で実施する。 ・家庭学習や放課後の時間を有効活用する指導を行う。	B	△	・資格・検定試験についての説明を徹底する。 ・受験指導の方法を工夫する。	B	A	・生徒が資格取得に興味を持てるよう職員の情報交換を進める。 ・掲示物や資格案内資料の情報紹介を検討していく。 ・生徒が資格指導に満足、ほぼ満足の合計が90.2%である。
		(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	・生徒の実態に合った授業や、教材づくりなど各科でわかりやすい授業に取り組む。 ・授業における言語活動の充実を図る。 ・試験前、試験中に勉強会を行う。(学年) ・学習遅れの生徒へ補習する。(各教科) ・授業アンケートを基に授業改善に心掛ける。 ・ICT機器を活用した効果的な指導を行う。	△	△	△	△	△	・生徒が学校の学習指導に満足、ほぼ満足しているの合計が84.9%である。また、授業に対して真剣に取り組んでいる生徒が93.6%である。さらに保護者が学校の学習指導に満足、ほぼ満足の合計が89.9%である。 ・すべての職員がステップアップサポート事業で、アクティブ・ラーニングによる授業実践を行い、校内研修で共通理解が図られた。
II 生徒の意欲的な学習活動に適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(7) 欠点保持者数は各学期で全校で10%以下である。	・成績不振者に対し補習授業を行う。 ・履修科目を修得させる努力をさせる。 ・基礎、基本の知識が定着する授業を展開する。	△	△	・1学期の欠点保持者数が2.15%である。 ・特定の科目で多数の欠点があることが多い。早期に欠点を解消させるように課題等を提出させるなど計画的に指導していく。	A	A	・1学期の欠点保持者数が6.09%である。 ・長欠者が多数の欠点がある。
		(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1~2回程度行っている。	・情報交換会を実施する。 ・各科と担任の情報交換を密にする。 ・定例学年会で情報交換する。 ・職員会議、成績会議で情報交換する。 ・各会議での情報を共有できるようにする。	△	△	・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。	A	A	・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	・進路指導も見据えた指導を行う。 ・遅刻カード(イエローカード)の記入を徹底する。 ・欠席遅刻が多くなりそうな生徒には、家庭へ連絡して早期改善に努める。 ・基本的生活習慣を確立させる。	B	△	△	A	A	・年度当初の臨時休業やコロナ禍の影響により不登校傾向の生徒も数多いが、生徒および保護者と学校との連携が円滑に行われ遅刻者数は前年度比約82%であった。
		(10) 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査の必要のある生徒の受診率は80%以上である。	・検診結果により治療が必要な生徒に治療勧告を行う。 ・担任、養護教諭等で指導機会を増やす。 ・保健だよりを発行し、保健意識の啓発を図る。	未	未	・新型コロナウイルスの関係で休校となり、年度当初計画されていた健康診断がすべて2学期以降に延期になった。健康診断実施後速やかに治療勧告をおこなった。	D	D	・延期されていた健康診断を2学期にすべて終了し、速やかに生徒への受診勧告をおこなった。心臓などの急を要する受診以外、特に歯科などは例年の50%程度を受診率であった。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	・学校生活アンケートや面談週間などで、悩みを学校職員に伝える機会を設け、未然防止や早期発見に結びつける。 ・生徒、保護者が中心となって、あいさつ運動を展開する。	△	△	・今年度現在までのいじめ認知件数は10件である。友人関係での悩み相談等もあり、SC、教育相談と連携対応できている。アンケート調査等も学期に1回実施している。	A	A	・いじめ認知件数は4件であった。いじめ認知に向けた組織的対応を実践することができたと共に、法令上のいじめに関する認識を職員間で共有することができた。
		(12) 学校は、「学校いじめ防止基本方針」について、1回以上生徒に説明している。	・年度当初に、全校集会で「学校いじめ防止基本方針」を説明し、いじめは絶対にあってはならないことを伝えていく。	B	B	・全校集会等が開けず、直接説明は出来ていないが、HPや生徒指導だより等による周知を実施した。	B	B	・全校集会が開けなかったため、HPや生徒指導だよりによる周知をした。学期毎に放送でのいじめ防止啓発を実施した。
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	(13) 学校は、生徒がSNS(ツイッターやラインなど)やインターネットの危険性や正しい利用方法などについて、1回以上は学ぶ機会をつくっている。	・「ケータイ安全教室」を実施し、SNSによるトラブルやSNSに頼らない人間関係の構築に向け指導を行う。	未	未	・全校集会が開けず、現段階では1学年のみ「高校生のためのインターネットセミナー」を実施した。今後、全校集会等が開ける状況になったら講演会等を企画したい。	B	B	・臨時休業によりケータイ安全教室は実施できなかったが、1学年に対し高校生のためのインターネットセミナーを実施することができた。また、2・3年には資料を配布するとともに、生徒指導だよりにて啓発を行った。
		(14) 部活動に入学している生徒は60%以上である。	・新入生歓迎会(部活動ガイダンス)により、新入生への部活動加入を促す。 ・部活動の諸調整を行い活動の活性化を図る。	△	△	・休校もあり、勧誘行事が例年と異なった計画となっていたが、新入生歓迎会も無事に実施することができた。また、見学期間も設けることができたので、部編成の状況から考えても加入率に大きな影響はなかったと思われる。	A	A	・今年度は感染症の影響で縮小実施だった新入生歓迎会を、来年度は部活動より活性化できるように実施して推進したい。また、活動環境の充実化や整備ができるよう、今後とも配慮して行きたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	・先輩と語る会や3年生と語る会を実施する。 ・進路希望調査を実施する。(年2回) ・進路講話や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・進路補講(2年3学期)を実施する。 ・各科との協力のもと、企業見学やインターンシップを実施する。	△	△	・新型コロナウイルスの関係で、進路行事を計画通り進めることはできていないが、3年生の進路に関わる重要な各種のガイダンスは、感染対策を講じた上で、実施することができた。今後の進路指導計画を見直す。	A	A	・今年度実施した各種の進路行事を見直し、令和3年度に向けて、さらに改善し、より精選された進路指導計画に努めたい。
		(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	・進路のしおりを作成し配布する。 ・保護者対象の進路説明会を実施する。 ・ホームページを活用し、進路行事や進路状況載せる。 ・2者及び3者面談を実施し、進路希望の確認を行う。 ・配布物を保護者に見せるよう、学級担任と協力して生徒を指導する。	△	△	・例年より早く、進路のしおりを配布することができた。新型コロナウイルスの関係で臨時休業となったが、本校のWebページを活用し進路だよりの発行や進路情報を生徒や保護者等に今まで以上に発信できている。	A	A	・進路情報に満足している保護者の割合が90.4%となり、近年では一番高い割合となった。コロナ禍対策のため、Webページ等を利用して、進路だよりや進路情報を定期的に発信できた。今後も今まで以上に進路情報を提供できるように計画していきたい。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	・進路だよりを定期的に発行する。 ・進路のしおりを作成し、全生徒に配布する。 ・進路相談室の充実を図る。 図書館に進路コーナーを設置し、生徒への情報提供を行う。	△	△	・感染防止対策として、進路室内に飛沫防止ガードフィルムやアルコール消毒液を設置し、生徒や来校者が利用しやすい環境に努めた。ハローワーク等の関係機関と連携を強化し、必要な情報収集に努めた。	A	A	・進路指導やキャリア教育の推進を図るとともに、今後も生徒にとって利用しやすい環境づくりに努めたい。また、進路相談についても、適切で丁寧な進路指導を心がけたい。
		(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	・オープンスクールを行う。 ・学校公開を実施する。	未	未	・本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため学校説明会は中止。HPで学校紹介動画を公開	未	未	・本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため学校説明会は中止。HPで学校紹介動画を公開
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	・全校一斉の3者面談週間を設ける。	△	△	・6月8日から6月19日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・休業期間にも面談等を行った。	A	A	・6月8日から6月19日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・休業期間にも面談等を行った。
		(20) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	・学級懇談会や学年保護者会を実施する。 ・保護者への連絡を周知徹底するため、案内文書に加えメールでの案内も送る。 ・家庭との連絡を密にする。(担任) ・課題研究発表会等では、保護者に案内を送る。	未	B	・コロナウイルス感染症対策のためPTA総会中止。 ・クラス通信やホームページ、メールの活用など学校の様子が保護者に分かるように情報を発信する。 ・HPを活用しコロナウイルス感染症対策や登校情報を発信した。	A	A	・コロナウイルス感染症対策のためPTA総会中止。 ・クラス通信やホームページ、メールの活用など学校の様子が保護者に分かるように情報を発信する。 ・HPを活用しコロナウイルス感染症対策や登校情報を発信した。
	11 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	・ホームページの内容を随時更新する。 ・中学3年生向けの学校説明会時やオープンスクール時に配布して広報する。 ・中学校訪問時に配布して広報する。 ・中学校への出前授業を実施する。	△	△	・前工通信(新聞)や学校案内を作成し、中学校へ配付した。 ・ホームページの更新を月1回以上行っている。	A	A	・前工通信(新聞)や学校案内を作成し、中学校へ配付した。 ・ホームページをリニューアルして更新回数を増やし、アクセス数向上につながった。